

1-1 子育て支援の充実

● 施策のめざす姿

子育てサービスや相談体制が充実していて、安心して子どもを育てることができます。

● 施策の成果指標

指標名	区分	現状値	前期 目標値	説明
安心して子どもを育てることができる環境が整っていると思う保護者の割合	成果	62.6%	▲	子ども・子育て支援ニーズ調査の「地域の子育ての環境や支援」で「満足度が高い」と答えた市民の割合です。
合計特殊出生率	成果	1.07	1.20	一人の女性が一生に産む子どもの平均数です。
年少人口割合	成果	11.6%	10.2%	総人口に占める0歳から 14 歳までの人口の割合です。

● 施策をとりまく環境変化と課題

- ◎核家族化の進行、夫婦共働きやひとり親世帯の増加等により子育てに対する不安や負担感が増大しています。
- ◎合計特殊出生率は、平成 19 年度以降、1.10 台で推移していましたが、平成 22 年度には 1.10 を割り込んでいるとともに、出生数も低下しています。
- ◎少子化の進行は、労働力の減少等、経済面に影響を与えるほか、子ども同士の交流の機会が減少することによる健全な成長への影響や地域社会の活力の低下等が懸念されます。
- ◎安心して子どもを生み育てていくためには、経済的な安定が不可欠であり、子育てに伴う経済的負担の軽減を図ることが求められています。

● 施策内の計画

北本市子ども・子育て支援事業計画（H27～H31）

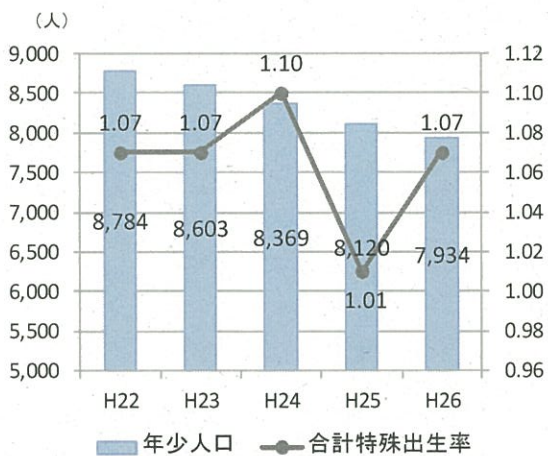
用語解説

延長保育	保育所(園)に入所している子どもについて、通常の利用時間以外に保育所(園)で保育を実施する事業です。
病児保育	医療機関や保育所等に付設された専用スペース等において、保育士と看護師が一時的に保育を行う事業のうち、病気または病気回復期に利用できるものです。
病後児保育	医療機関や保育所等に付設された専用スペース等において、保育士と看護師が一時的に保育を行う事業のうち、病気回復期にのみ利用できるものです。
放課後児童クラブ	小学生の保護者が就労等により、常時保育を必要とする児童の健全な育成を図るための事業です。北本市では、学童保育室という名称で開設しています。

● 基本事業の構成

基本事業名・めざす姿	指標名	現状値	前期 目標値
1-1-1 保育サービスの充実 重点	保育所（園）待機児童数	0人	0人
通常保育の内容が充実しているとともに、多様化する保育ニーズに対応するサービスが提供されています。	特別保育利用人数	620人	640人
●主な取組… 公立保育所の建替え、民間保育園の助成、特別保育（延長保育*・病児保育*・病後児保育*等）の実施			
1-1-2 子どもの居場所づくり 重点	放課後児童クラブ*待機児童数	0人	0人
安全な環境で集団生活を送り、心身ともに健康に育っています。	児童厚生施設（児童館及び地域子育て支援拠点施設）の年間延べ利用人数	68,331人	130,000人
	放課後子ども教室の登録者数	431人	450人
●主な取組… 学童保育室の建替え、地域子育て支援拠点の運営、放課後子ども教室の充実			
1-1-3 子育て不安の解消 重点	子育てが「楽しい」と感じている保護者の割合	73.9%	77.0%
・必要に応じた子育て支援サービスを受けることができます。 ・子育てに不安を持つ保護者が相談しやすい体制が整っています。	子育てに不安や負担を感じている保護者の割合	4.2%	▲
	子育てについて相談する人がいない保護者の割合	5.1%	▲
●主な取組… 家庭児童相談室の運営、子どもの発達に関する相談、 子育て世代包括支援制度の構築			
1-1-4 子育ての経済的負担の軽減 重点	子育てに関する経済的支援を受給している延べ人数	214千人	215千人
各種支援制度により経済的負担が軽減されています。			
●主な取組… 多子世帯への補助・給付、児童手当、児童扶養手当、こども医療費、ひとり親家庭等医療費及び交通遺児手当の支給			

合計特殊出生率と年少人口の推移



（年少人口：住民基本台帳、
合計特殊出生率：埼玉県の人口動態概況）

1-2 母子保健と子どもに関する医療の充実

● 施策のめざす姿

心身ともに健やかに、子どもが育ちます。

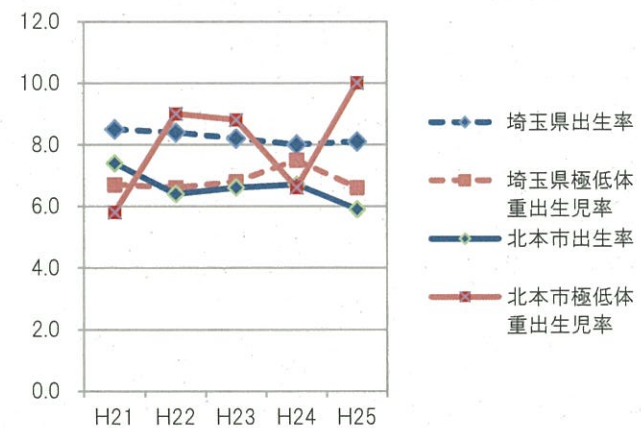
● 施策の成果指標

指標名	区分	現状値		前期 目標値	説明
乳幼児健康診査で精密検査等が必要とされた子どもが必要な医療を受けた割合	成果	4か月児健診	精検者なし	100%	各健診において、精密検査が必要と判断された子どもが、その後必要な医療を受けた割合です。
		1歳6か月児健診	50.0%	80.0%	
		3歳児健診	73.7%	80.0%	

● 施策をとりまく環境変化と課題

- ◎市内及び近隣市の分娩取扱医療機関が減少しています。北本市内では、平成15年の4か所から平成21年以降1か所に減少しました。
- ◎出生率が低下しています。平成25年人口千人あたりの出生率は5.9（埼玉県8.1）でした。その中で、極低体重出生児*の率は10.0（埼玉県6.6）と高い状況となっています。
- ◎出産直後の母親で育児の負担感が大きいと思われる人の率が高い状況にあります。生後4か月までの子どもがいる家庭を訪問する乳児家庭全戸訪問事業で、平成26年に母親の育児負担に関するアンケートを行ったところ、負担が大きいと考える人が10.2%と高率でした。

出生率及び極低体重出生児率の推移（人口千人あたり）



（埼玉県保健統計年報）

● 施策内の計画

北本市子ども・子育て支援事業計画（H27～H31）

用語解説

極低体重出生児 出生時の体重が1,500g未満の子どもです。なお、出生時の体重が、2,500g未満の子どもを低体重出生児といいます。

● 基本事業の構成

基本事業名・めざす姿	指標名	現状値	前期 目標値
1-2-1 妊娠・出産に関する 保健・医療の充実 重点	妊婦が妊婦健康診査を受診した回数（全14回）	11.9回	12.5回
	妊婦の喫煙率 ※現状値は平成27年4月から12月までの結果を参考表示しています。	(2.5%)	2.0%
	妊婦の飲酒率 ※現状値は平成27年4月から12月までの結果を参考表示しています。	(2.2%)	2.0%

●主な取組… 不妊治療費の助成、妊婦健康診査の助成、産前・産後ケアの充実

1-2-2 子どもに関する医療体制の充実 重点	埼玉県小児救急電話相談「#8000」を知っている人の割合	—	35.0%
必要に応じて適切に医療が受けられています。			

●主な取組… 小児初期・小児二次救急医療の実施、産婦人科医確保の支援

1-2-3 子どもに関する保健の充実 重点	4か月児健康診査を受診した子どもの割合	97.5%	98.0%
	1歳6か月児健康診査を受診した子どもの割合	94.7%	96.0%
	3歳児健康診査を受診した子どもの割合	92.7%	95.0%
	麻疹風しんワクチン（2期）を接種した子どもの割合	89.9%	92.5%

●主な取組… 定期予防接種の実施、任意予防接種費用の助成、乳幼児健康診査の実施

1-3 支援を必要とする子ども・家庭へのきめ細かな取組

● 施策のめざす姿

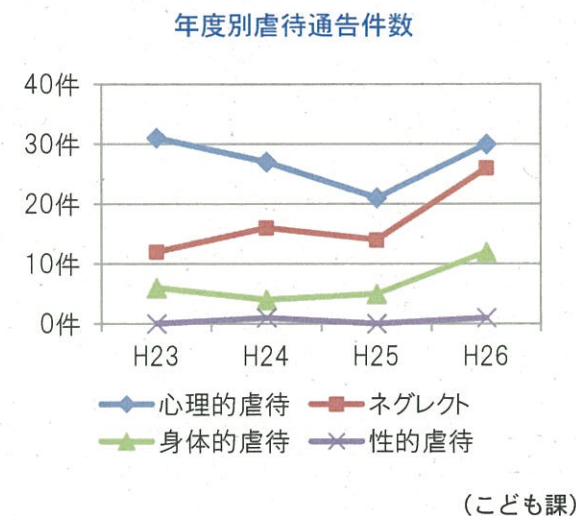
虐待を防ぎ、支援を必要とする子どもがその状態にあった支援を受けることができます。

● 施策の成果指標

指標名	区分	現状値	前期 目標値	説明
児童虐待に関する関係機関との連携の割合	成果	100%	100%	児童虐待の相談・通告について、虐待の情報を共有するとともに、適切な対応を行うために、児童相談所等の関係機関と連携した割合です。
児童発達支援センター*を利用する保護者の満足度	成果	—	80.0%	児童発達支援センターを利用する保護者の満足度です。
障害児学童保育室*を利用する保護者の満足度	成果	—	80.0%	障害児学童保育室を利用する保護者の満足度です。

● 施策をとりまく環境変化と課題

- ◎現在、親などによる子どもの虐待が深刻な社会問題になっています。
- ◎児童虐待の相談件数は、心理的虐待、ネグレクト（保護の怠慢・拒否）、身体的虐待、性的虐待の順となっています。
- ◎障害児学童保育室では、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供し、障がい児の自立を促進しています。なお、支援を必要とする児童の増加により利用者の増加が見込まれます。



● 施策内の計画

北本市子ども・子育て支援事業計画（H27～H31）

用語解説

児童発達支援センター	障がい児に対し、日常生活における基本的な動作の指導等を行う施設です。
障害児学童保育室	市内の小・中学校の特別支援学級に在学する児童等に生活向上のための必要な訓練等を行う施設です。
早期支援事業	遊びを通して親子の関係や子どもの育ちを支援する事業で、児童発達支援センターの任意事業です。

● 基本事業の構成

基本事業名・めざす姿	指標名	現状値	前期 目標値
1-3-1 障がい児福祉サービスの充実	早期支援事業*の待機児童数	0人	0人
	障害児学童保育室の待機児童数	0人	0人
	障がい児福祉サービスの利用人数	92人	95人
	障がい児保育の待機児童数	0人	0人
●主な取組… 障がい児保育の実施、障害児学童保育室の運営、発達障がい児への早期支援、障がい児相談の充実			

1-3-2 要配慮家庭への支援の充実	家庭児童相談員の訪問・面談件数	154人	—
家庭が子どもにとって、安心・安全に育てられる環境となっています。	児童虐待に関する関係機関との連携の件数	85件	—
●主な取組… 要保護児童等への支援、虐待防止対策の実施			

1-4 学校・家庭・地域の連携による教育の推進

● 施策のめざす姿

学校・家庭・地域の連携により子どもたちを育む環境が整っています。

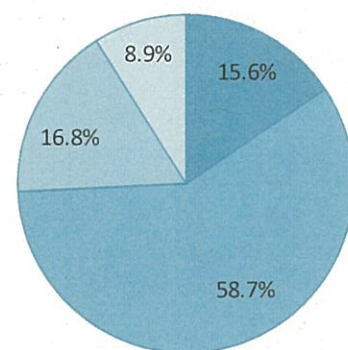
● 施策の成果指標

指標名	区分	現状値	前期 目標値	説明
学校・家庭・地域の連携がとれていると思う市民の割合	成果	74.3%	▲	市民アンケートで、「連携がとれている」「どちらかといえばとれている」と回答した市民の割合です。

● 施策をとりまく環境変化と課題

- ◎保護者は、地域の出来事に関心をもっているものの、地域の行事への参加意識が低い現状があります。地域の結び付きを深め、子どもに対する家庭・地域の教育力を高めることが求められています。
- ◎子どもは、子ども同士、子どもと大人など、人と人とのふれあいを通じて成長していくため、多様な体験の場を確保することが求められています。
- ◎文化活動や福祉活動などによる地域住民と子どもとの交流や、授業や様々な教育活動への地域住民の関わりが求められています。

学校・家庭・地域の連携がとれていると思う
市民の割合



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

(H27 年度 まちづくり市民アンケート)

● 施策内の計画

北本市教育振興基本計画（H25～H29）

用語解説

地域活動室	学校に地域の方が集う「地域の拠点となる学校づくり」を推進するために開設された活動の場です。文化活動や福祉活動が行われており、児童生徒の交流や支援等を実施しています。
学校応援団	学校・家庭・地域が一体となって子どもの育成に取り組むために、ボランティアとして協力・支援を行う保護者や地域住民による活動組織です。学習活動の支援や安全確保への支援、学校の環境整備への支援などを行っています。

● 基本事業の構成

基本事業名・めざす姿	指標名	現状値	前期 目標値
1-4-1 家庭の教育力の向上 家庭の教育力の向上により、基本的生活習慣が身についています。	児童生徒における基本的生活習慣 平均実践項目数（全 7 項目）	4.33 項目	▲
●主な取組… 家庭教育学級・子育て講座の開催			
1-4-2 保護者の学校活動への参加 学校活動への関心が高まり、学校活動へ参加する人が増加します。	学校行事への保護者の参加率	82.9%	▲
●主な取組… PTA活動の支援			
1-4-3 子どもの読書習慣の向上 読書習慣を身につけ、多くの本を読んでいます。	子どもの図書貸出冊数	142,804 冊	145,000 冊
●主な取組… こども図書館の運営、学校図書館の運営			
1-4-4 地域の教育力の向上 地域の方による活動が活発に行われ、子どもたちの学びや体験の場が確保されています。	地域活動室*の利用件数	780 件	800 件
	学校応援団*による支援の件数	2,518 件	2,600 件
●主な取組… 学校応援団の推進			
1-4-5 青少年健全育成の推進 地域が一体となった活動により、青少年が健全に育成されています。	青少年の健全育成が推進されている と思う市民の割合	63.8%	▲
●主な取組… 青少年育成市民会議への支援、青少年の見守り活動の実施			

1-5 学校教育の充実

● 施策のめざす姿

確かな学力と豊かな心、健やかな体を身に付けることができます。

● 施策の成果指標

指標名	区分	現状値	前期 目標値	説明
勉強が好きだと思う児童の割合	成果	68.3%	70.0%	「埼玉県学力・学習状況調査」において、勉強が「好き」「どちらかといえば好き」と回答した児童生徒の割合です。
勉強が好きだと思う生徒の割合	成果	36.1%	40.0%	
不登校児童生徒数	成果	58 人	50 人	1 年度内に連続又は断続して 30 日以上欠席した児童生徒のうち、欠席理由が「不登校」に該当する人数です。
運動・スポーツをすることが好きな児童の割合	成果	93.1%	95.0%	「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、運動やスポーツをすることが「好き」「やや好き」と回答した児童生徒の割合です。
運動・スポーツをすることが好きな生徒の割合	成果	86.6%	90.0%	

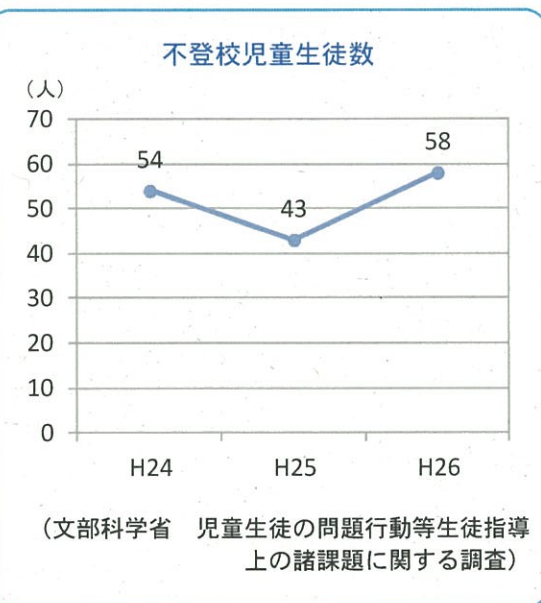
● 施策をとりまく環境変化と課題

- ◎変化の激しいこれからの社会を生きるために、確かな学力、豊かな心、健やかな体といった知・徳・体のバランスのとれた力である「生きる力」をいっそう育むことが求められています。
- ◎全国学力・学習状況調査や埼玉県学力・学習状況調査等の結果の活用や日々の授業改善を通じた学力向上が課題となっています。
- ◎障がいのある児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高めることで、生活や学習上の困難を改善し、または克服するため、適切な指導及び必要な支援を行う特別支援教育の充実が求められています。

● 施策内の計画

北本市教育振興基本計画（H25～H29）

用語解説	
個別の指導計画	児童生徒一人ひとりの障がいの状態等に応じたきめ細かな指導が行えるよう、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに対応して、指導目標や指導内容・方法を盛り込んだものです。
適応指導教室	教育委員会が設置・運営する不登校児童生徒の学校復帰に向けた指導・支援を行う教育支援センターです。不登校児童生徒の集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的生活習慣の改善等のための相談・適応指導を行っています。



● 基本事業の構成

基本事業名・めざす姿	指標名	現状値	前期 目標値
1-5-1 教育環境の整備	学校施設の維持管理上の不具合により施設を使用できなかった件数	0 件	0 件
学校施設を支障なく安全に利用できます。			
●主な取組… 教育機器の更新			
1-5-2 教育内容・方法の充実	重点 県学習状況調査における小4から中3までの学力の伸び（県平均値との差）	+1.5pt	+2.0pt
各小・中学校で学習する内容を児童生徒が理解できています。	人権をテーマとした授業の実施時数	45 時間	45 時間
●主な取組… 学校4・3・2制の研究、英語教育の推進、学力向上・生徒指導対策の推進、人権教育の推進			
1-5-3 体力づくりの推進	新体力テスト上位3ランクの児童の割合	82.7%	84.0%
適切な運動経験を通して基礎的な身体能力が児童生徒に身についています。	新体力テスト上位3ランクの生徒の割合	87.6%	88.0%
●主な取組… 体力向上に係る研究及び実践の推進、部活動の活性化			
1-5-4 健康教育の充実	12 歳児の一人平均う歯（むし歯及び治療済みのむし歯）数	1.05 本	1.00 本
学校・家庭・地域の連携により、自らの健康を適切に管理、改善することのできる児童生徒が育成されています。	「朝食をほとんど食べない」児童の割合	1.1%	1.0%
	「朝食をほとんど食べない」生徒の割合	1.5%	1.5%
	給食の残菜量	44,170 kg	40,000 kg
	給食における北本産食材の使用量	9,550 kg	10,000 kg
●主な取組… 小学校給食室の改善、小・中学校健康診断の実施			
1-5-5 子どもの安全確保	登下校時の交通事故件数	5 件	0 件
事件事故に巻き込まれず、安全に学校生活を送ることができます。	外傷による1日の保健室平均利用件数	1.7 件	1.6 件
●主な取組… 安全教育の推進			
1-5-6 特別支援教育の充実	重点 個別の指導計画*に基づいて授業を受けている児童生徒の割合	1.56%	1.60%
障がいのある児童生徒に対する適切な教育が行われています。			
●主な取組… 特別な教育的ニーズに応じた教育の推進、特別支援教育支援員の配置			
1-5-7 教育相談の推進	適応指導教室*における学校復帰率	58.0%	65.0%
学校生活での不安を相談できます。			
●主な取組… スクールソーシャルワーカーの配置、さわやか相談室の活用			

2-1 地域福祉の推進

● 施策のめざす姿

地域で手助けしたり手助けされたりする環境が整っています。

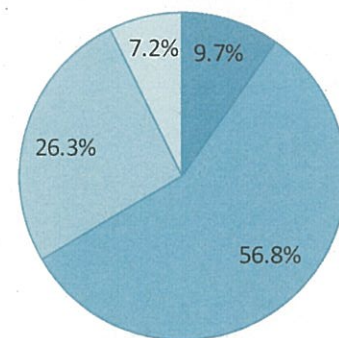
● 施策の成果指標

指標名	区分	現状値	前期 目標値	説明
地域での支え合い、助け合い（共助*）ができていると思う市民の割合	成果	66.5%	➡	市民アンケートで、居住する地域の住民同士の自主的な支え合い、助け合いが「できている」「どちらかといえばできている」と回答した市民の割合です。

● 施策をとりまく環境変化と課題

- ◎個人が人としての尊厳をもって、障がいの有無や年齢にかかわらず、家庭や地域の中でその人らしい安心した生活が送れるよう、自立を支援する担い手の確保が重要です。
- ◎地域の繋がりが希薄化している中、地域での助け合いや見守り活動などの情報を得ることが難しいため、幅広く情報共有ができるような体制づくりが必要です。
- ◎高齢化が進むと同時に、単身世帯も増加しているため、家族以外の相談場所を身近に確保することが必要です。

地域での支え合い、助け合いができていると思う市民の割合



- できている
- どちらかといえばできている
- どちらかといえばできていない
- できていない

（H27 年度 まちづくり市民アンケート）

● 施策内の計画

北本市地域福祉計画（H25～H29）

用語解説

共助	地域でともに助け合うことです。
地域福祉活動	住民が身近な地域社会で自立した生活が営めるように、地域に存在する様々な主体が協働し、支え合い、助け合う活動です。
社会福祉協議会	社会福祉法に基づき、社会福祉事業の健全な発達に寄与する事業を行うことにより、地域福祉の推進を図ることを目的とする団体です。

● 基本事業の構成

基本事業名・めざす姿	指標名	現状値	前期 目標値
2-1-1 福祉意識の醸成	地域福祉活動*に参加したことがある市民の割合	35.7%	➡
	地域福祉活動に参加する人が増えています。	支部社協福祉委員の人数	597 人
●主な取組… 社会福祉協議会*への支援			

2-1-2 福祉に関わる人材・組織の育成	福祉のボランティア団体数	41 団体	45 団体
●主な取組… 福祉のボランティア団体への支援、手話通訳者の養成			

2-1-3 地域で見守りあう仕組みづくり	良好な近所づきあいができていると思う市民の割合	40.8%	➡
身近な地域での関わりを豊かにして地域の声かけ・見守り活動が進んでいます。	支部社協で開催しているサロン（高齢者・子ども）の開催箇所数	21 か所	32 か所
	避難行動要支援者名簿の同意者の割合	13.3%	60.0%
●主な取組… 災害時要援護者支援体制の確立			

2-1-4 相談体制の充実	困った時に家族以外で相談できるところがある市民の割合	88.0%	➡
日常生活で困っていることを相談できる場所と情報が必要な時に利用できます。	地域包括支援センター（高齢者）の相談件数	10,444 件	12,000 件
	子育て支援センター（子ども）の相談件数	91 件	95 件
	地域活動支援センター（障がい者）の相談件数	2,860 件	3,000 件
●主な取組… 結婚を希望する若者への支援、民生委員・児童委員活動の支援			

2-2 保健・医療の充実

● 施策のめざす姿

必要に応じて適切な医療を受けながら、安心して暮らしています。

● 施策の成果指標

指標名	区分	現状値	前期 目標値	説明
65 歳健康寿命*	成果	男 17.31 年 女 19.34 年	男 17.50 年 女 19.50 年	日常的に介護を必要としないで自立した生活ができる期間です。

● 施策をとりまく環境変化と課題

- ◎平均寿命が伸び、高齢化率が急速に上昇する中、自立して過ごせる期間（健康寿命）を延ばすことが求められています。
- ◎死亡原因の中で生活習慣病の占める割合が約 60%を占めています。がんで亡くなる人は 3 人に 1 人となっています。
- ◎高齢化を背景として、肺炎で亡くなる人も増えています。
- ◎自殺で亡くなる人が、年平均 15～20 人となっています。国、県では平成 15 年以降減少傾向ですが、北本市では横ばいの状態です。

65 歳健康寿命と要介護期間（単位：年）



（埼玉県 健康指標総合ソフト）

● 施策内の計画

北本市みんないきいき！健康なまちづくりプラン（健康増進計画・食育推進計画）（H26～H35）

北本市第二期特定健康診査等実施計画（H25～H29）

用語解説

65 歳健康寿命 65 歳になった人が、その後自立して過ごせる期間のことで、具体的には、要介護 2 になる前までの平均の期間です。なお、要介護期間は、要介護 2 以上となる期間です。

● 基本事業の構成

基本事業名・めざす姿	指標名	現状値	前期 目標値
2-2-1 生活習慣の改善 重点	健康増進に関する取組の平均実践項目数（全 12 項目）	5.30 項目	▲
市民が気軽に健康づくりに取り組んでいます。	健康づくり事業等に参加した人数	1,392 人	2,000 人
●主な取組… 健康づくり事業の拡充、各種保健事業の実施			

2-2-2 疾病の予防・早期発見	特定健康診査を受診した国保加入者の割合	40.7%	60.0%
疾病の予防・早期発見、早期治療ができています。	定期的ながん検診を受診している市民の割合	24.1%	▲
	65 歳以上でインフルエンザ定期予防接種を受けている人の割合	41.4%	45.0%
●主な取組… 任意予防接種費用の助成、北本市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導、がん検診、定期予防接種			

2-2-3 地域医療の充実	地域医療環境に満足している市民の割合	84.9%	▲
適切な医療を受けることができる環境が整っています。	かかりつけ医がいる人の割合	76.1%	▲
●主な取組… 「かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局」などを持つことの普及			

2-3 高齢者福祉の充実

● 施策のめざす姿

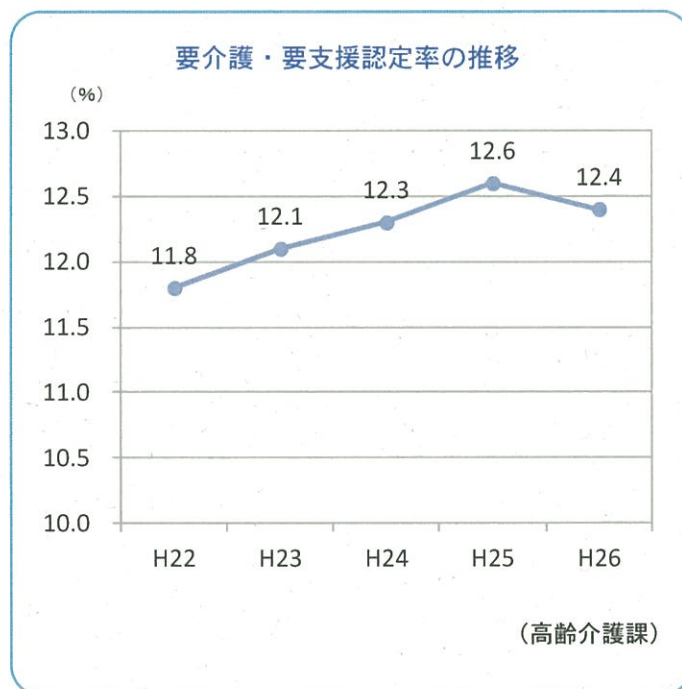
高齢者の自立をみんなで支え、健康でいきいきと暮らしています。

● 施策の成果指標

指標名	区分	現状値	前期 目標値	説明
65 歳以上の高齢者の要介護・要支援認定率	成果	12.4%	12.4%	65 歳以上人口に占める要介護・要支援認定者の割合です。

● 施策をとりまく環境変化と課題

- ◎本市の高齢化率*は、平成 25 年度には 25%を超え、平成 37 年度には 33%を超えると予想されています。
- ◎高齢化の進行に伴い、高齢者が住み慣れた地域でその人らしい生活を送るために、市民が助け合い、地域や行政が支援する体制（地域包括ケアシステム*）づくりが課題となっています。
- ◎高齢者が生きがいを持ち、充実した生活を送るために、シルバー人材センターや社会福祉協議会等を拠点とした、高齢者の就労支援やボランティア活動などの生きがいづくりが求められています。



● 施策内の計画

北本市高齢者福祉計画 2015・第 6 期介護保険事業計画（H27～H29）

用語解説

高齢化率	総人口に占める 65 歳以上の高齢者人口の割合です。
地域包括ケアシステム	住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される仕組みです。

● 基本事業の構成

基本事業名・めざす姿	指標名	現状値	前期 目標値
2-3-1 生きがいと社会参加の促進	社会参加している高齢者の割合	52.6%	▲
高齢者が就労や地域活動、ボランティア活動等の社会参加をしています。	生きがいを持っている高齢者の割合	82.3%	▲
●主な取組・・・ シルバー人材センターの支援、老人クラブ活動の支援			

2-3-2 介護予防・日常生活支援 総合事業の推進	重点	高齢者の健康増進に関する取組の平均実践項目数（全 12 項目）	6.60 項目	▲
健康づくりを習慣化して健康維持を目指しています。		要介護支援認定の新規該当者の平均年齢	77.9 歳	78.5 歳
●主な取組・・・ 介護予防・生活支援サービス事業の実施、一般介護予防事業の実施				

2-3-3 包括的支援事業の推進	要介護・要支援認定者のうち在宅で生活している高齢者の割合	97.0%	97.0%
高齢者が住み慣れた地域でその人らしい生活を送ることができます。	認知症サポーター数	339 人	400 人
●主な取組・・・ 地域包括支援センターの運営、在宅医療・介護連携の推進、認知症施策の推進、生活支援サービスの体制整備			

2-4 障がい者福祉の充実

● 施策のめざす姿

障がい者が安心して日常生活、社会生活を営んでいます。

● 施策の成果指標

指標名	区分	現状値	前期 目標値	説明
十分にサービスを利用できていると思う障がい者の割合	成果	30.7%	➡	障害福祉計画策定時のアンケートで、「十分にサービスを利用できている」と回答した人の割合です。
1週間に3日以上外出している障がい者の割合	成果	60.0%	➡	障害福祉計画策定時のアンケートで、「1週間に3日以上外出できている」と回答した人の割合です。
収入を伴う仕事をしている障がい者の割合	成果	17.7%	➡	障害福祉計画策定時のアンケートで、「収入を伴う仕事をしている」と回答した人の割合です。

● 施策をとりまく環境変化と課題

- ◎平成 26 年 4 月に「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）」が施行され、障がい者の定義に難病等が追加されました。
- ◎平成 28 年 4 月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」が施行され、障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現が望まれています。
- ◎毎年障害者手帳所持者数が増加しており、特に精神障害者保健福祉手帳所持者が急増しています。
- ◎「障害者等の自己決定の尊重と意思決定の支援」、「市町村を基本とした身近な実施主体と障害種別によらない一元的な障害福祉サービスの実施」、「入所等から地域生活への移行、地域生活の継続支援、就労等の課題に対応したサービス提供体制の整備」が望まれています。

● 施策内の計画

第二次北本市障害者福祉計画（H19～H28）

第四期北本市障害福祉計画（H27～H29）

用語解説

自立支援給付サービス	障がい者及び障がい児に個人の状況に合わせて支給する自立のためのサービスです。介護給付、訓練等給付、サービス利用計画作成、補装具、自立支援医療、療養介護医療の 6 種類のサービスがあります。
地域生活支援事業	障がい者及び障がい児が、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じ、柔軟な形態により効果的・効率的に実施される事業です。

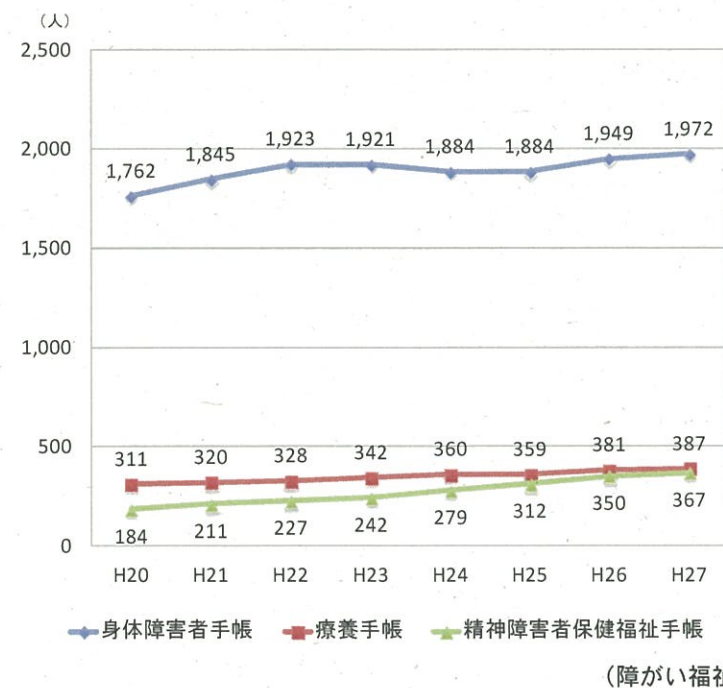
● 基本事業の構成

基本事業名・めざす姿	指標名	現状値	前期 目標値
2-4-1 自立支援の推進	自立支援給付サービス*の利用件数	6,843 件	8,000 件
障害福祉サービスが十分に提供され、サービスを必要としている障がい者が利用しています。	自立支援給付サービスの利用時間	17,412 時間	22,000 時間
	福祉施設、病院等から自宅等へ移行した障がい者の数	0 人	3 人
●主な取組・・・ 障害福祉サービス事業所の運営・助成、障害者総合支援法に基づく自立支援給付の支給			

2-4-2 地域生活支援事業の充実	地域生活支援事業の利用件数	4,047 件	4,300 件
地域生活支援事業*を十分に提供する環境が整っています。	地域生活支援事業の利用時間	4,260 時間	4,700 時間
●主な取組・・・ 地域生活支援事業の推進、地域活動支援センターの支援			

2-4-3 障がい者の就労支援	就労している障がい者数	24 人	35 人
就労を希望する障がい者が就労しています。	就労を受け入れている事業所数	22 社	30 社
●主な取組・・・ 障がい者就労支援センターの運営			

障害者手帳所持者の推移



● 施策のめざす姿

各種社会保障制度が適正に運営されています。

● 施策の成果指標

※この施策は、基本的に国の制度(公平な負担による社会保障制度)に基づくものであり、国の政策や社会経済状況の影響を大きく受けるため、市としての成果指標は設定していません。

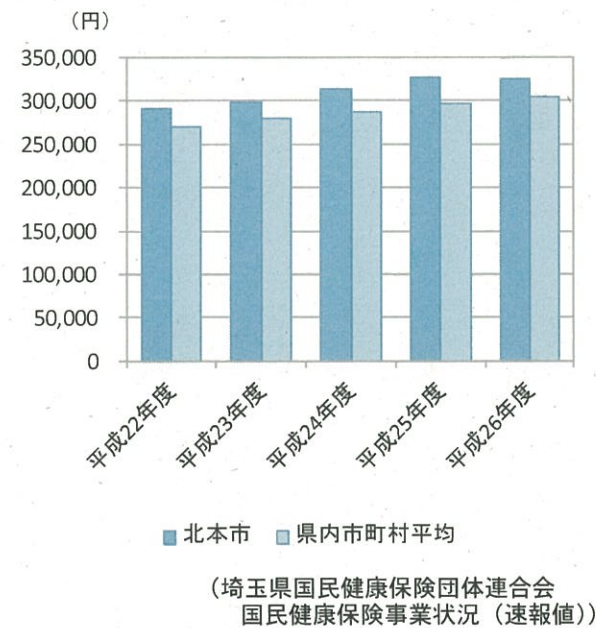
● 施策をとりまく環境変化と課題

◎高齢化の進行に伴い、生活保護世帯に占める高齢者世帯の割合が増加しており、就労による自立は難しい状況となっています。

◎近年、国民健康保険の被保険者数は、減少していますが、被保険者の高齢化や医療技術の高度化に伴い、医療費が増加し、国民健康保険の財政運営は厳しい状況にあります。そのためデータヘルス計画*を策定して、効果的・効率的な保健事業を推進することや国民健康保険税の収納率の向上が課題となっています。なお、「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律」の施行により平成30年度から国民健康保険の財政運営の責任が、市町村から県に移行することとなっています。

◎高齢化の進行に伴い、後期高齢者医療加入者や介護が必要な高齢者の増加が見込まれており、持続可能な後期高齢者医療制度や介護保険制度の運営が課題となっています。

国民健康保険一人あたり医療費の推移



● 施策内の計画

北本市高齢者福祉計画 2015・第6期介護保険事業計画(H27~H29)

用語解説

データヘルス計画 健康診査の結果や診療報酬明細書等から得られる情報を分析して、PDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業を行うための実施計画です。

ジェネリック医薬品 新薬の特許期間の満了後、厚生労働省の承認を得て製造・販売される医薬品です。

● 基本事業の構成

基本事業名・めざす姿	指標名	現状値	前期目標値
2-5-1 生活困窮者への自立支援 自立に向けて適切な支援を受けることにより自立します。	就労により自立し生活保護が廃止になった世帯数(累計) ※現状値には、直近3か年の累計を参考表示しています。	(69 世帯)	115 世帯
●主な取組… 就労支援プログラムの実施、職業訓練支援員の配置			
2-5-2 国民健康保険制度の適正な運営	国民健康保険税の現年分収納率	92.9%	94.5%
国民健康保険は、国民皆保険制度の根幹を成す制度であることを理解して、被保険者が適正な負担を行っています。被保険者の健康管理により医療費の伸びが抑制されています。	国民健康保険被保険者の一人あたり医療費	324,977 円	338,000 円
●主な取組… データヘルス計画策定、特定健康診査・特定保健指導の実施、現年保険料の期限内納付の推進			
2-5-3 後期高齢者医療制度の適正な運営	後期高齢者医療保険料の現年分収納率	99.6%	99.7%
後期高齢者医療は、75 歳以上の健康保険制度であることを理解して、被保険者が適正な負担を行っています。	後期高齢者医療被保険者の一人あたり医療費	779,894 円	790,000 円
●主な取組… ジェネリック医薬品*の利用促進、現年保険料の期限内納付の推進			
2-5-4 介護保険制度の適正な運営	介護保険料の現年分収納率	99.1%	99.3%
介護保険は、介護を必要とする高齢者の介護等に係る負担を社会全体で支援する制度であることを理解して、被保険者が適正な負担を行っています。	介護保険サービスの満足度	59.0%	▲
●主な取組… 第7期介護保険事業計画策定、要介護認定の適正な実施、現年保険料の期限内納付の推進			

2-6 生涯学習の推進

● 施策のめざす姿

多くの市民が生涯学習に取り組んでいます。

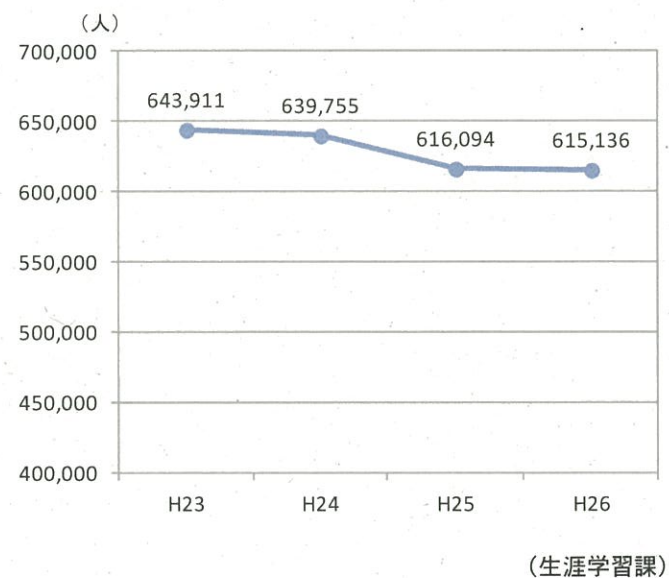
● 施策の成果指標

指標名	区分	現状値	前期 目標値	説明
生涯学習に取り組んでいる市民の割合	成果	38.5%	▲	市民アンケートで、「生涯学習として継続的に趣味の活動や習い事等をしている」と回答した市民の割合です。

● 施策をとりまく環境変化と課題

- ◎本市では、平成 26 年度に第三次北本市生涯学習推進計画を策定し、誰でも学習できるような生涯学習の環境づくりに努めてきました。現在、女性や高齢者をはじめ、多くの市民が各種講座や市民主体の生涯学習活動に参加し、「一人1学習、1スポーツ、1奉仕」の実践に取り組んでいます。
- ◎少子高齢化の進行、高度情報化、国際化等の社会情勢の変化の中で、個人の健康づくり、就業や職業に役立つ知識や技術の習得が求められています。
- ◎若者や働き盛りの世代を含めて参加しやすい学習環境をつくり、学習意欲を高めていくことが必要になっています。また、知識や技能を持つ人が、それを生かせる環境をつくっていくことが重要になっています。今後は、市民と行政が協働して生涯学習によるまちづくりを推進していくことが必要です。

生涯学習施設の年間利用者数の推移



● 施策内の計画

第三次北本市生涯学習推進計画（H26～H35）

● 基本事業の構成

基本事業名・めざす姿	指標名	現状値	前期 目標値
2-6-1 学習機会の充実	生涯学習に関するサークル数	776 団体	814 団体
	生涯学習の機会に対する満足度	83.0%	▲
	人財情報バンク登録者数	145 人	180 人
●主な取組・・・ 生涯学習活動の情報発信、各種講座の開催			

2-6-2 生涯学習施設の適切な管理と利用促進	生涯学習施設の年間延べ利用者数	615,136 人	630,000 人
生涯学習施設が適切に管理され、市民に利用されています。	生涯学習施設の維持管理上の不具合により施設を使用できなかった件数	0 件	0 件
●主な取組・・・ 生涯学習施設(小・中学校は含まない)の管理運営			

2-6-3 芸術・文化事業の推進	この1年間で芸術・文化活動に参加・鑑賞したことのある市民の割合	51.4%	
芸術・文化活動への関心が高まり、鑑賞や活動をする市民が増えます。			
●主な取組・・・ 市民文芸誌の発行、市民文化祭の開催			

2-7 スポーツ活動の推進

● 施策のめざす姿

スポーツをする市民が増えています。

● 施策の成果指標

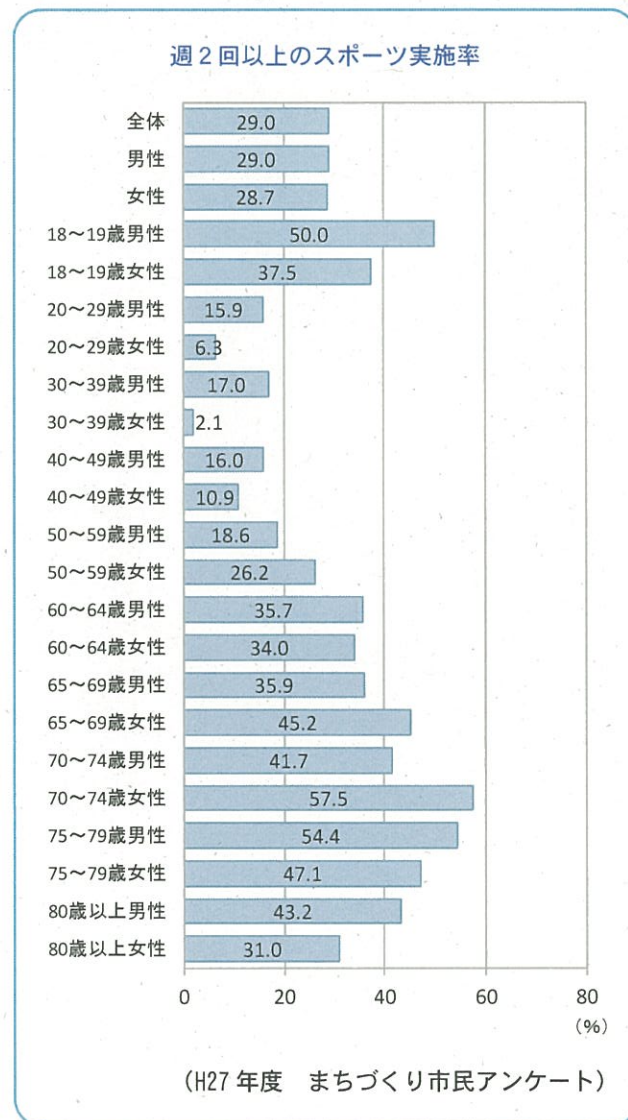
指標名	区分	現状値	前期 目標値	説明
週2回以上のスポーツ実施率	成果	29.0%	▲	市民アンケートで、「1回30分以上、週2回以上、運動をしている」と回答した市民の割合です。

● 施策をとりまく環境変化と課題

- ◎健康志向の高まりにより、スポーツを行う市民が増えています。
- ◎市民が気軽にスポーツに親しめるように、より身近な「地域スポーツ教室」等の充実と子どもや障がい者、高齢者を対象としたスポーツ事業の展開が必要です。
- ◎2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、スポーツに関する興味や関心が高まっています。
- ◎体育センターは、オープンから24年が経過し、経年劣化による不具合や交換が必要な備品類が多く、大規模改修を行う必要があります。

● 施策内の計画

北本市スポーツ推進計画（H25～H34）



● 基本事業の構成

基本事業名・めざす姿	指標名	現状値	前期 目標値
2-7-1 スポーツ機会の充実	スポーツ等の教室、大会数	132件	150件
多様なスポーツやレクリエーションを行うことにより、いきいきと生活しています。	スポーツ・レクリエーションを行う機会があると思う市民の割合	84.2%	▲
	市主催のスポーツ・レクリエーションイベントの年間参加者数	41,400人	42,000人

●主な取組… 各種スポーツ大会の開催、地域スポーツの普及推進、スポーツ関係団体への支援

2-7-2 スポーツ施設の適切な管理と利用促進	体育施設の年間延べ利用者数	240,101人	245,000人
体育施設が適切に管理され、市民に利用されています。	体育センターの維持管理上の不具合により施設を使用できなかった件数	1件	0件

●主な取組… 野球場の改修、体育センターの管理運営、学校体育施設開放の拡充、スポーツ施設の新設

3-1 市民参画と協働の充実

● 施策のめざす姿

市民の主体的な参画*と協働*によるまちづくりに取り組んでいます。

● 施策の成果指標

指標名	区分	現状値	前期 目標値	説明
市民参画と協働によるまちづくりに取り組んでいると思う市民の割合	成果	59.9%	↑	市民アンケートで、「市が積極的に市民参画と協働によるまちづくりを進めていると思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合です。

● 施策をとりまく環境変化と課題

◎平成 25 年 4 月に「北本市市民参画推進条例」と「北本市協働推進条例」を施行しました。様々な分野において、「市民の市政参画」と「市民と行政の協働」が求められています。

◎市民参画を推進する上で重要なのは、参画しやすい環境づくりです。そのためには、市民をはじめ市内関係団体など様々な分野との連携を図り、若者から高齢者まで幅広い世代の方が参画できる機会や場所づくりを進め、魅力あるまちづくりを行う必要があります。

◎地域の現状を把握し、地域が求めるニーズに適切に対応するため、市民と市との協働による取組が求められています。協働による取組をさらに推進するため、市民の積極的な活動を支援し柔軟かつ斬新なアイデアを基に協働の体制を強化し、地域における課題解決に向け取り組む必要があります。

● 施策内の計画

北本市市民公益活動推進計画（H25～H29）

用語解説

参画	市長等が行う政策の企画立案、実施及び評価の各過程に市民が参加することです。
協働	市民と行政が対等の立場で共通の目標に向けて協力することです。

● 基本事業の構成

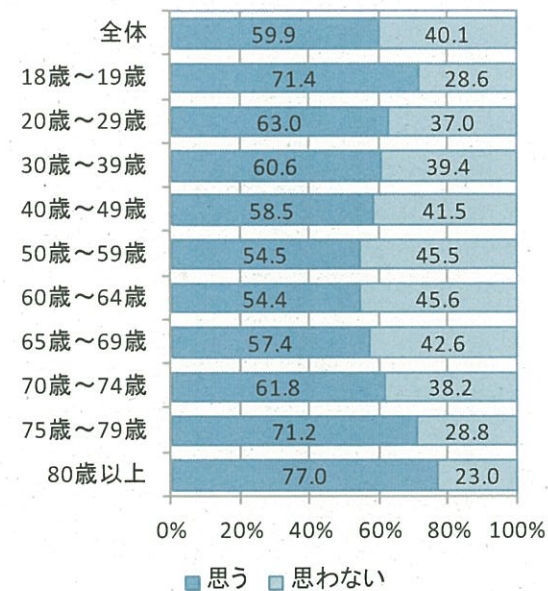
基本事業名・めざす姿	指標名	現状値	前期 目標値
3-1-1 市民参画の推進	市民公募による附属機関の委員割合	5.0%	10.0%
	ワークショップや市民説明会へ参加した人数（累計） ※現状値は条例施行以降の平成 25・26 年度の累計を参考表示	(216 人)	550 人
	市民アンケート平均回答率	50.0%	60.0%

●主な取組… 市民参画手続の実施、若者を対象としたワークショップ等の開催

3-1-2 協働の推進	協働事業提案制度により実施した事業の件数（累計）	4 件	8 件
市民と行政が対等な立場でともに課題解決に取り組んでいます。	ボランティアや市民公益活動に参加した市民または参加してみたいと思う市民の割合	29.0%	↑
	市民と行政がともに地域の課題解決に取り組んでいると思う市民の割合	51.4%	↑

●主な取組… 協働事業提案制度の推進、アダプトプログラムの推進

市民参画と協働によるまちづくりに取り組んでいると思う市民の割合



(H27 年度 まちづくり市民アンケート)

3-2 暮らしを支える地域活動の支援

● 施策のめざす姿

地域の活動に参加する市民が増えています。

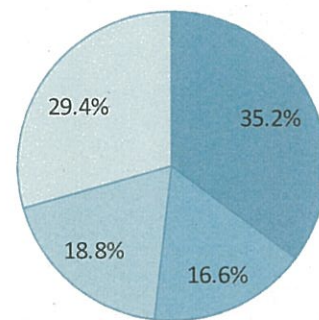
● 施策の成果指標

指標名	区分	現状値	前期 目標値	説明
地域活動に参加している市民の割合	成果	51.8%	▲	市民アンケートで、「この1年間に自治会等の地域活動に参加した」「時々参加した」と回答した市民の割合です。

● 施策をとりまく環境変化と課題

- ◎地域の重要性は見直されてきていますが、少子高齢化等の影響により、地域活動に参加する人は減少してきています。地域で支え合うまちづくりを進めるには、自治会等の組織の維持や活性化の具体的な方策の展開が求められます。
- ◎行政と自治会等の市民団体が、それぞれの立場や位置づけ等を踏まえた役割分担を行い、自立性の確保に配慮することが重要です。
- ◎自治会集会施設の新規整備や老朽化した施設の修繕、建替え等、地域の実情に合わせた施設の整備や維持管理が必要です。

地域活動に参加している市民の割合



- 参加した
- 時々参加した
- ほとんど参加していない
- 全く参加していない

(H27 年度 まちづくり市民アンケート)

● 基本事業の構成

基本事業名・めざす姿	指標名	現状値	前期 目標値
3-2-1 地域活動の推進	自治会等の地域の活動が必要だと思う市民の割合	81.7%	▲
	自治会に加入している世帯の割合	78.1%	82.0%
	地域活動の重要性を理解し、参画意識がある市民が増えます。 地域コミュニティ委員会の活動に参加した市民の延べ人数	48,000 人	50,000 人
●主な取組… 自治会・コミュニティへの支援、若者が参加しやすい環境づくり			

3-2-2 地域活動の拠点施設の整備促進	自治会活動の場所が充足していると思う市民の割合	67.3%	▲
地域活動の拠点施設が整備・管理され活発に利用されています。	安全性や利便性が改善された自治会集会施設の数（累計）	20 施設	▲
●主な取組… 自治会集会施設整備費の補助、市立集会所の維持管理			

3-3 平和と人権の尊重

● 施策のめざす姿

- ・ 平和を尊重し、基本的人権が守られる地域社会が形成されています。
- ・ 男女が社会の対等な構成員として活躍できる地域社会が形成されています。

● 施策の成果指標

指標名	区分	現状値	前期 目標値	説明
人権が尊重されているまちだと思 う市民の割合	成果	78.0%	➡	市民アンケートで、北本市が「人権 が尊重されているまちだと思 う」と回答した市民の割合です。
あらゆる分野で男女が対等に参画し ていると思う市民の割合	成果	60.4%	➡	市民アンケートで、北本市が「あ らゆる分野で男女が平等に参画し ている」と回答した市民の割合です。

● 施策をとりまく環境変化と課題

- ◎「平和を考える集い」は、若い世代の参加者が少ない傾向にあり、参加者へのアンケートや実行委員会の意見を取り入れながら、若い世代も興味を持つようなテーマ・催しを検討し、幅広い世代の参加を促進する必要があります。
- ◎今日においても同和問題をはじめとして、女性、子ども、高齢者、障がい者、外国人など、多様化する社会生活を背景に様々な人権問題が存在しています。今後も引き続き人権教育及び人権啓発を推進する必要があります。
- ◎少子高齢化が進み、雇用環境や家族形態の多様化など、社会環境は急激に変化しています。このような中、豊かで活力のあるまちづくりのため、男女の人権が尊重され、その個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会*を築くことが、重要な課題となっています。

● 施策内の計画

第四次北本市男女行動計画（H25～H29）

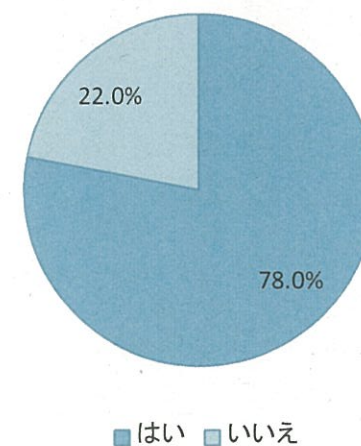
用語解説

男女共同参画社会 女性と男性が、社会の対等な構成員として、自分の意思で社会のあらゆる分野の活動に参加する機会が保障され、それによって利益を受け、ともに責任も担う社会のことです。

● 基本事業の構成

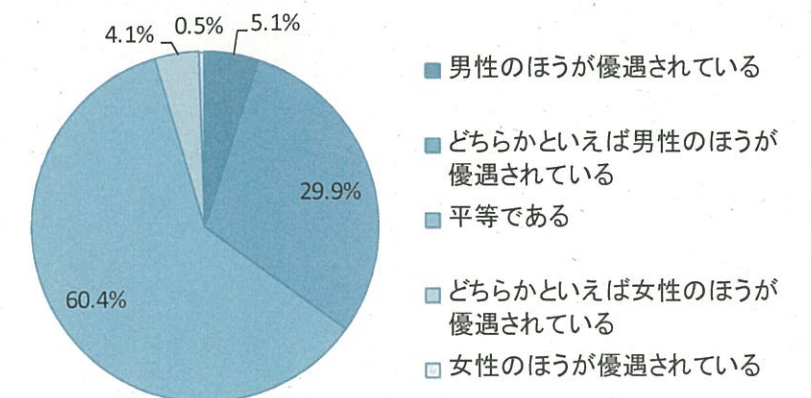
基本事業名・めざす姿	指標名	現状値	前期 目標値
3-3-1 平和啓発の推進 平和の大切さを感じることができるようになります。	「平和を考える集い」の参加者数	1,112 人	1,170 人
●主な取組… 平和を考える集いの実施			
3-3-2 人権意識の高揚	義務教育終了後、人権について学んだことのある市民の割合	46.1%	➡
市民一人ひとりが、あらゆる人権問題を正しく理解し、他の人の人権に配慮します。	この1年間に他の人の人権に配慮して生活した市民の割合	91.0%	➡
	市や公共施設において、開催された人権講座・研修会に参加した市民の人数	607 人	650 人
●主な取組… 人権を守る市民の集い、各種講座・研修の実施、啓発紙の発行			
3-3-3 男女共同参画の推進	家事・育児・介護に参加している既婚男性の割合	92.3%	➡
男女共同参画の意識が向上し、男女共同参画の考え方に則った行動をする市民が増えています。	地域活動に参加する働いている女性の割合	50.0%	➡
	市の審議会等に女性が登用されている割合	30.0%	40.0%
●主な取組… きたもと男女共生塾、啓発紙の発行、第五次北本市男女行動計画策定			

人権が尊重されているまちだと思
う市民の割合



(H27 年度 まちづくり市民アンケート)

あらゆる分野で男女が対等に参画していると思う市民の割合



(H27 年度 まちづくり市民アンケート)